



総研大ニューズレター

第 62 号 2013.7 発行

●目次

【今月のトピックス】	「機能分子科学専攻の望月建爾さんの論文が英国科学雑誌「Nature」に掲載されました	広報室
	「『JSPS サマー・プログラム オリエンテーション 2013』開催	学務課
	「葉山『益川熱血塾』～益川敏英先生と科学や社会、人生などかたらいませんか？～開催	総務課
	「鶏コレクション・データベース研究会 開催	及川学長補佐
	「生命共生体進化学専攻オープンキャンパス 開催	総務課
	「国立天文台特別公開講座/ 総研大天文科学専攻入試ガイダンスを開始	天文科学専攻

【各種募集】

【イベント情報】

主なイベント予定

7月7日	日本歴史研究専攻 大学院説明会
7月9日	高エネルギー加速器科学研究科 オープンキャンパス
7月21日	地域文化化学・比較文化化学専攻サマーオープンキャンパス
8月26日～30日	核融合科学専攻 第10回 夏の体験入学
8月28日～30日	基礎生物学研究所 大学生のための夏の実習 2013

【今月のトピックス】

● 機能分子科学専攻の望月建爾さんの論文が英国科学雑誌「Nature」に掲載されました

～氷の融解が始まる“きっかけ”を分子レベルで解明することに成功～

【研究概要】

本学の望月建爾氏（物理科学研究科機能分子科学専攻 5年一貫制博士課程4年）は、岡山大学の松本正和准教授および総合研究大学院大学の太田巖教授とともに、分子動力学シミュレーションを用いて、氷が内部から融解する均一融解の初期過程の分子機構を、詳細に解明する事に世界で初めて成功しました。

氷は通常、融点(1気圧では0℃)で容器の壁や表面から融け始めます(不均一融解)。これに対し、界面が存在しない理想的な環境では、氷自身が自発的に結晶構造を乱し、融解のきっかけを作りだす、均一融解という現象が起こります。身近な例では、氷に強い光をあてると、表面だけでなく内部からも融け、融けた液体の水がチンダル像と呼ばれる、雪の結晶とよく似た形を氷の中に形成します。この内部からの融解が“界面が存在しない理想的な環境”に対応します。(クレジット: Nature) チンダル像はアイスフラワーとも呼ばれます。

この氷の均一融解は、いわゆる一次相転移という物理・化学の最も重要な現象の一つです。氷の結晶は、それぞれの水分子が隣接する4つの水分子と計4本の水素結合を作っており、図のよ

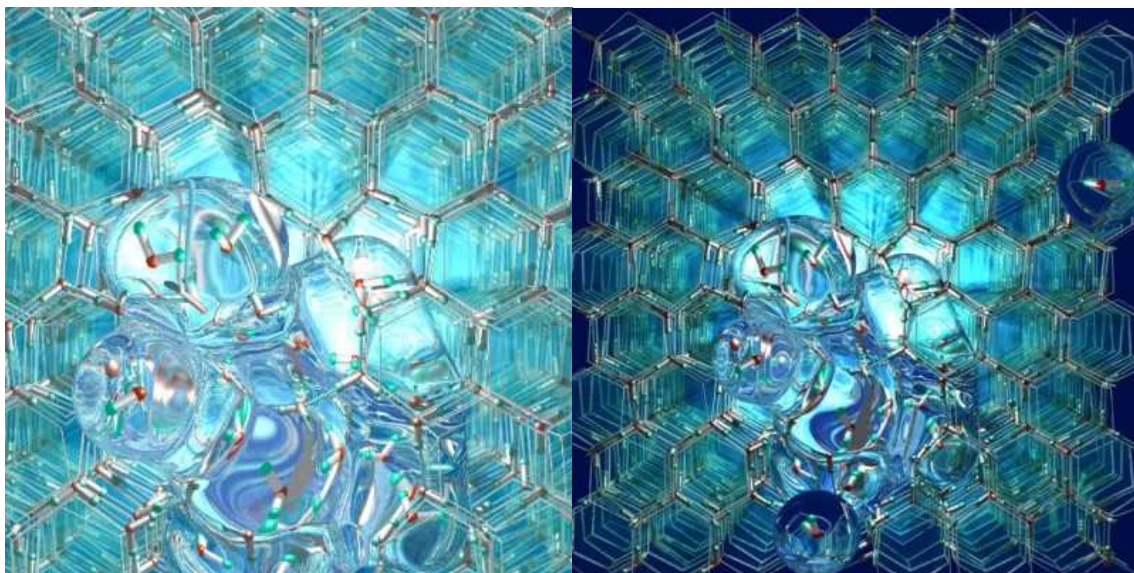


うに、規則正しく秩序を保った非常に安定な水素結合ネットワーク構造を形成しています。一方、液体の水は、水素結合は残っていますが、より乱雑な無秩序な構造をしています。均一融解において、氷の安定な構造を崩壊させ、乱雑な液体の水の構造へ変化させる分子機構、特に秩序が崩壊し始める“きっかけ”は、これまで謎のままでした。

本研究では、氷の構造の乱れの大きさを測る新しい尺度を導入し、最初のきっかけができてから、それが成長して最終的に大規模な構造の崩壊に至る過程を詳細に追跡しました。その結果、氷の融解過程が、これまで考えられていた、微小な融液滴の形成→融液滴の成長→融解という単純な経路ではなく、ある種の格子欠陥対の形成と分離といった紆余曲折を経た(「ピタゴラ装置のような」)複雑な過程を通らないと、融解できない事を明らかにしました。

水分子同士の水素結合のエネルギーは非常に強いため、温度による構造の揺らぎに誘発され幾つかの欠陥が出来ても、ほとんどの場合すぐに安定な氷構造へ戻ってしまいます。しかし、一度、格子欠陥対が分離すると、それらの対欠陥をきれいな氷構造へ戻すのは困難であり、糸が絡まりなかなか元に戻せないような現象、“水素結合ネットワークの絡まり”が生じます。この対欠陥は“消えない欠陥”として結晶中に存在し続け、さらに、水素結合ネットワークの組み替えを活性化する役割も果たす事で、氷の強固な水素結合ネットワーク構造を崩壊に導く“きっかけ”になる事を見つけました。

本研究は、「固体の中の強い結合で結ばれた分子構造がどのように壊れ液体になるのか?」という物理化学の最も基本的な課題の解明に挑戦しました。特に「氷の中の規則正しい構造の中に、“絡まった水素結合”という非常に小さいが長く消えない(消滅しない、生きている)欠損ができ、それが種になり欠損が次第におおきくなり液体(水)に成長していく」ことを明らかにしました。この成果は、「物質(物)の相」がかわるのは何かという最も基本問題にたいする一つの解(水という最も基本的な物に対して)を与えた訳で、基本的にすぐには全く「役」に立ちません。しかし、最も基本的な物理科学現象の一つの解明であり、ですから、他の様々な物質の中の分子レベルでの構造変化の仕組みの解明にも繋がる可能性があります。例えば、シリコンなど他の物質の固体-液体相転移の解明や、また今回の対象は我々を支えている「水」の相の変化に関する研究ですから、何らかの生命現象、すなわち蛋白質が構造変化を繰り返す“生命の仕組み”の解明に繋がるかもしれません。



【論文全著者】

望月 建爾 (総合研究大学院大学 物理科学研究科 機能分子科学専攻博士課程4年)
松本 正和 (岡山大学大学院 自然科学研究科 准教授)
大峯 巖 (分子科学研究所 教授・所長)

【総合研究大学院大学 HP より抜粋】

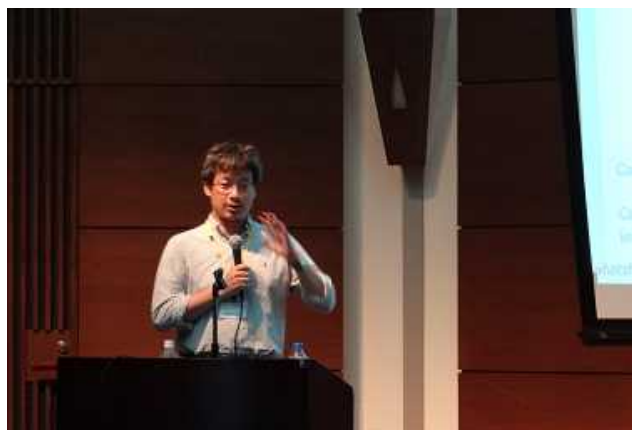
● JSPS サマー・プログラム オリエンテーション2013』を開催

平成 25 年 6 月 12 日（水）、アメリカ合衆国、英国、フランス、ドイツ及びカナダの 5 か国の博士号取得前後の若手研究者（フェロー）111名が来日し、『JSPS サマー・プログラム 2013』が幕を開けました。今年は小雨の降る中、長旅の疲れも見せず、2ヶ月の日本での研究活動に期待を膨らませた111名のフェローが葉山でのオリエンテーションに参加しました。



高畑学長の歓迎の挨拶で始まった開講式。日本学術振興会や海外協力機関からも多くの関係者が出席されました。来日したばかりのフェロー達は緊張や疲れも見せず、夜の歓迎レセプションでは、翌日の特別講義の講師達と研究について夢中で話しあったり、総研大の教員や総研大レクチャーの参加者の学生と熱心に話し合うフェローも多く見られ、多研究分野・多国籍のフェロー同士の国際交流が活発に始まりました。

第2日目は、日本における研究の特別講義が二つありました。これから2ヶ月間日本で研究活動をするフェロー達にとっては非常に興味深いものとなったようです。まず、東京大学 総合研究博物館の米田 穰教授より、食の多様性とその歴史に関する講義 '*You are what you ate: The tradition of Japanese foods reviewed from the evolutionary point of view*' がありました。身近なテーマである食文化からスタートしたユーモアあふれる講義に、始まってすぐに聴衆から笑い声が響きました。人類の歴史を遡り、いわゆる原人や猿人が何を食べていたのかを化石骨に残る歯から分析する話や、骨の成分を分析することで例えば、古代（縄文）の人々が実は現代人よりもバラエティー豊かな食事をとっていたこと等、人類学の観点から日本列島における人々の生活やその食文化を掘り下げた興味深い研究内容を終始和やかな雰囲気ですべて説明される米田先生の講演に、フェロー達も熱心に聞き入っていました。





続いて行われた、海洋研究開発機構 白山 義久理事の **'Understanding and Protecting Marine Biodiversity'** の講義では、海の生物がいかに多様であるかを様々な海洋生物の写真とともに示していただきました。例えば、数センチの大きさに及ぶ、細菌の群体や、調べると常に新種の生物の発見がある海底の泥に潜む線虫など、不思議な生き物の存在に、海洋のもつ多様性の具体例を示していただきました。また、それと同時に現在海洋で進んでいる環境汚染（海の酸性化）が実は地球大気の大気中の二酸化炭素濃度の増加により引き起こされていること、温暖化よりも実は深刻な問題であることをお話しいただきました。JAMSTEC の世界最高水準を誇る施設や設備紹介をした部分では、身乗り出して聞き入るフェローも多く、深海の神秘に迫った講義の終了後には、フェローから JAMSTEC の研究に関する質問が相次ぎました。今年の JSPS サマー・プログラムで JAMSTEC に滞在するフェロー2名にとっては、特別に素晴らしい機会となったに違いありません。

また 3 日間のオリエンテーションプログラムに即した内容にアレンジされた日本語講座では、積極的に日本語の学習に取り組む姿から、彼らのこれから 2 ヶ月間の研究活動に向けた意気込みを感じることが出来ました。日本文化紹介（茶道・書道・折り紙・着付け）では、様々な日本文化体験を通じて、地元のボランティアの方やホストファミリーと交流する姿が地元メディアにも掲載されました（神奈川新聞 6 月 14 日（金）朝刊）。14 日午後のポスターセッションでは、総研大生や総研大の教職員も加わり、それぞれの研究テーマを超えた活発な議論が、休憩時間を惜しんで交わされました。



梅雨の晴れ間に恵まれた週末には、日本家庭でホームステイを体験し、箱根の温泉、鎌倉の大仏見学、魚釣りなど、素晴らしい思い出を作り、16 日（日）夕方の帰着時には、ホストファミリーと抱き合っ別れを惜しみ、小さな子供たちがフェローとの別れに涙を見せる姿も印象的でした。終了後のアンケートには、フェローの感謝と感動の言葉が綴られ、ホームステイが総研大でのオリエンテーションプログラムの魅力の一つであることを再認識しました。

17日(月)には、元東京藝術大学教授の安藤政輝先生の講演及び邦楽演奏がありました。安藤先生からは日本の伝統楽器についての説明、その後、箏、尺八、三味線、十七弦を用いた6曲の楽曲の演奏がありました。講演の際には、安藤先生から箏の糸(絹)が配られ、フェローは絹糸を撚り合わせて作られた糸を実際に観察しながら、講演と演奏に聴き入っていました。最後の演目の演奏後には、全員が立ち上がり、なかなか鳴り止まない拍手から、彼らの大きな感動が伝わってきました。質疑応答の後、フェローが直に楽器に触れ、音を出してみる機会が提供され、壇上に用意された箏や三味線、尺八に触れてみたいというフェローが長い列を作りました。



オリエンテーション期間中は梅雨空に覆われた今年の JSPS サマー・プログラムでしたが、最終日の18日には、これから全国の受入機関に旅立つフェローに声援を送るような晴天に恵まれ、全てのフェローが、全国各地の受入機関に向け、旅立っていきました。8月20日の報告会では、2ヶ月間の研究活動を終えた彼らがどんな成果を報告してくれるか今から大変楽しみです。それぞれの機関で精力的に研究活動に従事することにより、彼らのエネルギーが日本の大学教育および学術交流の国際化を促進することを祈念します。

【文責：学務課】

● 学長プロジェクト 2013 葉山『益川熱血塾』 ～益川敏英先生と科学や社会、人生など語りませんか？～を開催

平成 25 年 6 月 7 日（金）に、学長プロジェクト 2013 葉山『益川熱血塾』 ～益川敏英先生と科学や社会、人生など語りませんか？～が、学融合推進センター 1 階ホールにおいて開催されました。

益川熱血塾では、益川敏英先生（2008 年、ノーベル物理学賞を受賞）を葉山キャンパスにお迎えし、学生が研究生活などで直面するさまざまな問題について質問し、それに答えるという形で進行了。参加した 11 名の学生は当初緊張した面持ちでしたが、益川先生のお人柄に触れ、時折笑いも起こるほど和やかな雰囲気の中で、実体験に基づく様々なアドバイスを受けました。最後は、益川先生を囲む形で記念写真を撮り、益川熱血塾は終了いたしました。



【文責：総務課】

● 鶏コレクション・データベース研究会を開催

2013年5月20-21日に葉山キャンパスで「鶏コレクション・データベース研究会」が、学融合推進センターで開催され、秋篠宮殿下をはじめ、学内外から15名の参加がありました。

この「鶏コレクション・データベース」は、本学の学内共同研究プロジェクト「ドメスティケーション・モデルの構築ー博物学の視点から（研究代表者：秋篠宮文仁）」における議論の中から提案されたもので、2009年から「鶏」をモチーフとした民芸品、玩具、置物、信仰用品、実用品などのデータベース化が進められてきました。これまでに約6,000点の資料について電子化が終了しており、今回の研究会のテーマは、このデータベースをどのように分析し活用するか、資料の分類法、イメージによる検索手法などについて検討することでした。

会場には壁とパネルを使って、国別、種類別（例えば擬人化されたもの、玩具、太鼓に乗った鶏等）に約1,500枚の写真が貼られ、2日間にわたって活発な議論がなされました。



写真を貼っている柴田室長



貼り出された1500枚の写真（一部）



研究会参加者と会場設営に協力した事務職員

【文責：及川学長補佐】

● 生命共生体進化学専攻オープンキャンパスを開催

生命共生体進化学専攻は、6月7日（金）及び8日（土）の2日間にわたり葉山キャンパスにおいて、オープンキャンパスを開催いたしました。本研究科では毎年2回オープンキャンパスを開催しており、今回は8名の参加がありました。

平田学長補佐による「総研大と全学事業の紹介」、佐々木専攻長の「生命共生体進化学専攻の概要説明」から始まり、各分野の研究内容紹介やラボ見学ツアー、情報交換会などが行われました。各参加者は説明に真剣な面持ちで聞き入り、教員に熱心に質問していました。

アンケートでは「今後の進路決定の参考になった」「教員の方とたくさん話ができてよかった」「様々な分野の先生からアドバイスをいただけて有意義だった」等の感想が聞かれ、大変充実した開催となりました。

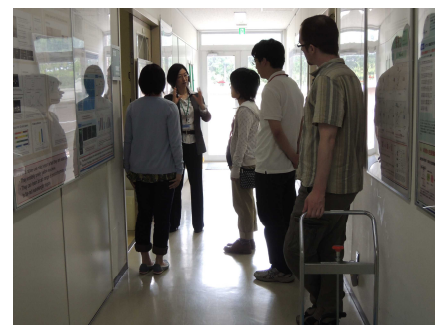
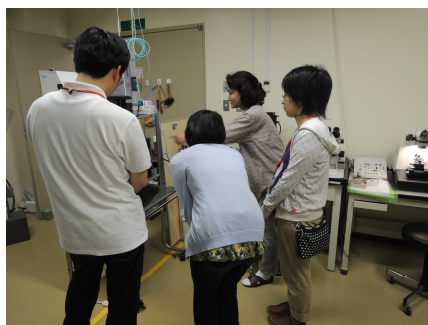
【プログラム概要】

1日目

- ・総研大と全学事業の紹介
- ・生命共生体進化学専攻の概要説明
- ・カリキュラム・入試に関する説明
- ・研究内容紹介
- ・在学生の紹介とメッセージ
- ・ポスター説明&情報交換会

2日目

- ・ラボ見学ツアー



【文責 総務課】

● 国立天文台特別公開講座/総研大天文科学専攻入試ガイダンスを開催

国立天文台の特別公開講演と総研大天文科学専攻入試ガイダンスが、関西地方(メルパルク京都)で5月18日(土)に、関東地方(国立天文台三鷹キャンパス)では5月25日(土)に開催されました。関西では16名(昨年15名)、関東では39名(昨年37名)の方が参加され、大学院入試を控える学部4年生・修士2年生のみならず学部1~3年生や一般の方の参加も多数見受けられました。

今年の公開講演のテーマは「天文学が拓く新たな知の地平線」ということで、光赤外線天文学・電波天文学・共通基礎天文学のそれぞれの分野の研究者の方々(臼田知史准教授、松尾宏准教授、勝川行雄助教、安東正樹准教授、伊王野大介准教授、大須賀健助教)から、TMTやひので衛星、ALMAやKAGRAを使った研究を始めとする最先端の天文学の研究や今後の展望について講演がありました。講演後の質疑応答では多くの質問が飛び交い、普段はなかなか目にする事ができない最先端の情報を間近に感じることができ、参加者にとって非常に有意義な時間になったようです。

関東では講演・ガイダンス後に教員相談会と院生懇談会が行われました。参加者は各々の興味のある分野の教員から直接を聞くことができ、研究内容の詳細や実際に入学したらどのような研究ができるのかなどの質疑応答が活発に交わされていました。また、教員だけでなく院生とも交

流する場が設けられ、入試や学生生活の話、研究の話などを気軽に聞くことができたようです。

参加者の多くの方が今回の特別公開講演・入試ガイダンスに満足されたようで、参加者にも講演者にも大変有意義な1日となりました。



講演の様子



入試ガイダンスでは、在学生による「総研大生の生活」という発表がありました。



教員相談会の様子



ハワイ観測所からもテレビ会議システムを使って教員や院生が相談に乗りました。

【文責：天文科学専攻】

【各種募集】現在公募中の情報

事 項	応募期間	提 出 先
学融合推進センター 研究論文助成	随時	総合研究大学院大学 学融合推進センター事務係
http://cpis.soken.ac.jp/htdocs/?page_id=68		
平成25年度(第19回)総合研究 大学院大学長倉研究奨励賞募 集		詳細は URL を参照
http://www.soken.ac.jp/news_all/2993.html http://www.soken.ac.jp/en/news/0263.html		

【イベント情報】

● 総研大の行事

7 月

日程	時間	行事名	場所
7 日(日)	13:00-16:30	日本歴史研究専攻 大学院説明会	明治大学アカデミーコモン (309A 教室)
http://www.rekihaku.ac.jp/graduate_school/soukendai/admission/briefing.html			
9 日(火)	10:00-17:00	高エネルギー加速器科学研究科 オープンキャンパス	高エネルギー加速器研 究機構つくばキャンパス
21 日(日)	13:30-16:30	地域文化学・比較文化学専攻 サマーオープンキャンパス	キャンパスプラザ京都 2F 第2会議室
http://www.minpaku.ac.jp/research/education/university/apply/opencampus			
27 日(土) 28 日(日)		土佐異界談義	高知県立大学 永国寺キャンパス (主催:日本歴史研究専攻)
http://www.rekihaku.ac.jp/graduate_school/soukendai/index.html			

8 月

日程	時間	行事名	場所
26 日(月) 30 日(金)		核融合科学専攻 第 10 回 夏の体験入学	核融合科学研究所
http://soken.nifs.ac.jp/open/open2013.html			
28 日(水) 30 日(金)	10:00-	基礎生物学研究所(基礎生物学専攻) 大学生のための夏の実習 2013	基礎生物学研究所
http://www.nibb.ac.jp/summer2013/			

● 基盤機関の行事

7月

日程	時間	行事名	場所
2日(火) 9月1日(日)		時代を作った技 —中世の産業革命—	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/exhibitions/project/index.html			
6日(土)	13:30-16:00	日文研東京講演会 「日本文化を考える」	有楽町朝日ホール
http://www.nichibun.ac.jp/event/tokyo.html			
7日(日)	14:30-15:30	【新日本の文化展示関連】 みんぱくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第305回 「新しいハレのかたち」	国立民族学博物館
11日(木) 11月5日(火)	10:00-17:00	「平和を築くアート—モザンビーク「武器を 農具に」プロジェクト」(仮題)	国立民族学博物館 企画展示室B
13日(土)	13:30-16:30	みんぱく映画会/みんぱくワールドシネマ 「さあ帰ろう、ペダルをこいで」	国立民族学博物館 講堂
13日(土)	13:30-16:30	国際ワークショップ「武器をアートに—モザン ビークにおける平和構築の営みを考える」	国立民族学博物館 第4セミナー室
13日(土)		第355回 歴博講演会 「中世技術の最先端」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/lecture/index.html			
13日(土) 14日(日) 27日(土) 28日(日)	13:00-13:30	【企画展「アマゾンの生き物文化」関連】 ギャラリートーク	国立民族学博物館
14日(日)		研究フォーラム「金融のなかの贈与— 金融と人類学の交差点」	国立民族学博物館 第4セミナー室
14日(日)	14:30-15:30	【企画展「アマゾンの生き物文化」関連】 みんぱくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第306回	国立民族学博物館
20日(土)	13:00-16:45	第89回歴博フォーラム 「モノ作りの中世」	国立歴史民俗博物館
http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/index.html			
20日(土)	15:30-17:20	核融合科学研究所 市民学術講演会	セラミックパーク MINO 1階 国際会議場

20日(土)	13:30-15:00	【新日本の文化展示関連】 第422回みんなぱくゼミナール 「色を創る、音で伝える、心に触れる — 瞽女(ごぜ)がみた風景—」	国立民族学博物館
20日(土)	18:30-19:45	国立情報学研究所 軽井沢土曜懇話会第 1回「今、蘇る寺田寅彦—天災は忘れた 頃に—」	国際高等セミナーハウス (軽井沢)
http://www.nii.ac.jp/event/karuizawa/			
21日(日)	14:30-15:30	【企画展「アマゾンの生き物文化」関連】 みんなぱくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう 第307回 「ポリビア・アマゾンの暮らし」	国立民族学博物館
21日(日)	13:30-16:30	サマーオープンキャンパス 国立民族学博物館	キャンパスプラザ京都 2F 第2会議室
http://www.minpaku.ac.jp/research/education/university/apply/opencampus			
22日(月)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座第2回 「クラウド時代のセキュリティ—パーソナル 情報を守る・活かす」	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/event/shimin/			
23日(火) 9月1日(日)		江戸のくらしと虫	国立歴史民俗博物館
25日(木) 8月27日(火)	10:00-17:00	【新日本の文化展示関連】みんなぱQ	国立民族学博物館
25日(木) 26日(金)	18:00-20:00	夏休みジュニア天体観望会	国立天文台
http://prc.nao.ac.jp/fukyu/junior/starparty.html			
25日(木)	15:00-17:00	夏休みジュニア天文教室+君もガリレオ! (申し込み制)	国立天文台
http://prc.nao.ac.jp/fukyu/junior/index.html			
26日(金)		【企画展「アマゾンの生き物文化」関連】 ワークショップ	国立民族学博物館
26日(金) 27日(土) (予定)	未定	JAXA 相模原キャンパス特別公開 2013	JAXA 相模原キャンパス
詳細は別途告知します。			
27日(土)	13:30-15:30	第172回 くらしの植物苑観察会 「沖縄の歌と植物」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
27日(土)	14:00-16:00	【企画展「アマゾンの生き物文化」関連】 トークイベント「鳥の羽根 いろとりどり」	国立民族学博物館

27日(土)	13:30-14:30 15:00-16:00	体験プログラム 「警女(ごぜ)文化にさわる」	国立民族学博物館
28日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン—研究者と 話そう 第308回	国立民族学博物館
30日(火) 9月1日(日)		伝統の朝顔	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑

8月

日程	時間	行事名	場所
3日(土)	1030-17:00	歴博映像フォーラム8「石を切る—採石技術の 伝統と革新—」	新宿明治安田生命 ホール
http://www.rekihaku.ac.jp/events/forum/next.html			
3日(土) 18日(日)		南の島の星まつり 2013	国立天文台 VERA 石垣 島観測局・石垣島天文台
http://www.southern-star.jp/			
3日(土) 10日(土) 11日(日)	13:00-13:30	【企画展「アマゾンの生き物文化」関連】 ギャラリートーク	国立民族学博物館
4日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第309回	国立民族学博物館
10日(土)	13:00-15:00	第356回 歴博講演会 「中世の生産革命」	国立歴史民俗博物館 歴博講堂
10日(土)		八重山高原星物語 2013	国立天文台 VERA 入来観測局
http://www.city.satsumasendai.lg.jp/www/contents/1371608777075/index.html			
11日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第310回	国立民族学博物館
17日(土)	13:30-15:00	第423回みんなくゼミナール「つくりもの— ハレのかたち・おもしろいかたち—」	国立民族学博物館
18日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロン— 研究者と話そう 第311回	国立民族学博物館
22日(木)	13:30-14:30	イプシロンロケット試験機による 惑星分光観測衛星(SPRINT-A)の打上げ ※最新の打上情報はHPで確認して下さい	宇宙航空研究開発機構 内之浦宇宙空間観測所
http://www.jaxa.jp/projects/rockets/epsilon/index_j.html			

24日(土)		いわて銀河フェスタ 2013	国立天文台 水沢 VLBI 観測所キャンパス・奥州宇宙遊学館
http://www.miz.nao.ac.jp/content/news/event/20130611-241			
24日(土)		国立天文台 野辺山 特別公開 2013 「つなげよう 宇宙・太陽・そして生命」	国立天文台 野辺山
http://www.nro.nao.ac.jp/visit/open2013/open2013_top.html			
25日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 312 回	国立民族学博物館
28日(水)	18:30-19:45	国立情報学研究所 市民講座第 3 回 「ネットの上の“あなた”ー安全・便利な本人 認証と個人識別の今ー」	学術総合センター
http://www.nii.ac.jp/event/shimin/			

9月

日程	時間	行事名	場所
1日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第 313 回	国立民族学博物館
8日(日)		平成 25 年度KEK一般公開	高エネルギー加速器研 究機構つくばキャンパス
http://www.kek.jp/ja/PublicRelations/Events/Openhouse/			
8日(日)	13:30-16:00	研究公演「のど歌のふるさと」	国立民族学博物館講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/slp			
12日(木) 11月26日 (火)	10:00-17:00	企画展「台湾平埔族の歴史と文化」	国立民族学博物館 企画展示場 A
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/thematic/taiwan20130912/index			
15日(日)	13:30-16:00	みんなく映画会/みんなくワールドシネマ 「再会の食卓」	国立民族学博物館講堂
http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/fs			
18日(水)		特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋 の博物館 Attic Museum」特別公開	国立民族学博物館 エントランス、特別展示 場
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20130919attic/index			
19日(木) 12月3日(火)	10:00-17:00	特別展「渋沢敬三記念事業 屋根裏部屋 の博物館 Attic Museum」	国立民族学博物館 特別展示館
http://www.minpaku.ac.jp/museum/exhibition/special/20130919attic/index			
21日(土)	10:30-17:00	第 90 回「現代社会と民俗文化」 国立歴史民俗博物館	東京証券会館ホール
http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#b			

21日(土)	13:30-15:00	みんなくゼミナール 「屋根裏部屋博物館主人の横顔」	国立民族学博物館 講堂
	http://www.minpaku.ac.jp/museum/event/seminar		
22日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第314回	国立民族学博物館
23日(月) ~27(金)		国際ワークショップ 「民族学資料の記録化・情報化の諸問題」	ロシア、ロシア民族学 博物館(サンクトペテ ルブルク市)、ノヴゴロ ド野外博物館(ノヴゴ ロド市)、ヴィトスラヴィ ツィ民俗木造建築博物 館(ノヴゴロド市)
27(金)		語順に関する国際ワークショップ	国立民族学博物館 第4セミナー室・第5セ ミナー室
28日(土)		言語の記述に関する国際ワークショップ	国立民族学博物館 第4セミナー室
28日(土)	13:30-16:30	みんなく映画会「中国インディペンデント・ドキ ュメンタリー映画『白塔』	国立民族学博物館 講堂
28日(土)	13:30-15:30	第174回「伝統の朝顔展の裏側」	国立歴史民俗博物館 くらしの植物苑
	http://www.rekihaku.ac.jp/events/schedule/index.html#c		
29日(日)	14:30-15:30	みんなくウィークエンド・サロンー 研究者と話そう 第315回	国立民族学博物館
29日(日)		手話言語と音声言語についての国際シンポジ ウム(2)「文の構造・身体表現」	国立民族学博物館 講堂

【教員の受賞情報等】

○生命科学研究科

基礎生物学専攻 井口泰泉教授
環境省 平成25年度環境保全功労者 表彰

基礎生物学専攻 重信秀治准教授
自然科学研究機構 若手研究者賞

○複合科学研究科

極域科学専攻 渡邊興亞 名誉教授 他
文部科学大臣表彰科学技術賞

【読売新聞への対応について】

2013年6月21日の読売新聞にて、「原子力の将来描けぬ 7大学・大学院で定員割れ」というタイトルの記事が掲載され、記事内で本学素粒子原子核専攻の定員と入学者数が記載されていました。

これに対して、当該専攻で行っている研究・教育は、核分裂等を用いた原子力エネルギー利用に直接関わる課題・科目は扱っていないことを、本学広報室より読売新聞社に対して伝えました。

【文責：総研大 広報室】

【編集後記】

総研大ニューズレター62号をお届けします。

5月には秋篠宮殿下が、6月にはノーベル賞受賞者の益川敏英先生が葉山キャンパスに来学され、活発な研究活動や学生交流が行われました。また、機能分子科学専攻の望月建爾さんの論文が、Nature に掲載され、しかも表紙を飾ることになりました。けして大きな大学ではありませんが、話題豊富な大学です。

大学マネジメント研究会（本間政雄会長）のイベント「maneken 共創考房 in 葉山」が葉山キャンパスで開催されました。この会は、国公立大学や民間企業の大学経営に関心のある教職員から構成されており、学内外から40名の参加がありました。

関東地区からの出席者が中心でしたが、私立大学や企業の方々への参加もあり、総研大を知らなかった方々に充分PRできたものと思っております。

さて、キャンパスにキジの番い^{つが}がやってきました。雄は堂々としていて、人間が近づいても慌てることなくエサをついばんでいましたが、雌は走り回って、どこかに隠れようとしていました。

園庭の池には、シオカラトンボとギンヤンマが競うように飛び交っています。今年はまだ見かけていませんが、梅雨が明ければ、カブトムシやクワガタムシもやってくるでしょう。自然豊かなキャンパスです。

広報室 T.S



◎各専攻で教員や学生がメディアに出演が決まっている場合や、発表や表彰等があった際にはご連絡ください。またメディア等に出演される場合は、可能な限り「総合研究大学院大学」と表記していただけますようご協力をお願いします。

発行 2013年7月10日

編集



国立大学法人

総合研究大学院大学

THE GRADUATE UNIVERSITY FOR ADVANCED STUDIES

広報委員会

神奈川県三浦郡葉山町（湘南国際村）

総務課（担当）

TEL 046-858-1500/FAX 046-858-1542

©2013 SOKENDAI